

第3回おおいた産感染症対策機器等見本市併催

感染症対策セミナー Q&A

【質問】

感染～回復から1か月後の経過を知りたいです。回復後、もともとの状態に戻っているのか、倦怠感や息苦しさなどの症状は続いているのかなど。

【回答】

感染～回復から1か月後の経過については、これまでの研究で、発症2か月後の症状として以下のような報告があります。

嗅覚障害(19.4%)、呼吸困難(17.5%)、倦怠感(15.9%)、咳(7.9%)、味覚障害(4.8%)

【質問】

自施設ではPCR検査が出来ない中小規模の病院です。何らかの方法で無症状の入院患者や職員を発見することでクラスターの発生防止に繋がるのではないかと対策を考えているところですが、無症状では抗原定性検査では陽性率が低く意味が無いと病院長からの許可が出ませんでした。何か良い方法があればご教授ください。

【回答】

無症状者に対する抗原定性検査については、1月22日付の国の通知で、使用可能である旨が明記されています。PCRに較べれば、少し精度が下がりますが、スクリーニングとしては、十分に実用可能と考えています。

【質問】

このウイルスは様々変化していくと思いますが、感染力が上がると弱毒化し、逆に感染力が下がると強毒化するのでしょうか？また、感染力も毒性もどちらも強いといったウイルスの存在もあり得るのでしょうか。

【回答】

感染力と病原性はウイルスの性質として独立していると考えられますので両者の関連は薄いと思われる。ただ病原性の低いものの方が症状のない人や軽い人を介して伝播しやすいという側面はあるかもしれません。

新型コロナウイルスに関しては報告されているイギリス株、南ア株は野性株(変異を持たない株)に比べて少なくとも3割から4割感染しやすくなっているとされていますが病原性が高まっているというエビデンスは今のところ明らかではないようです。

インフルエンザほどではありませんが新型コロナウイルスは一定の頻度で変異を起していると考えられますので注意深く監視していく必要はあると思います。感染が拡大すると変異の可能性も高まりますのでその点からも基本的な感染予防策は大切だと考えます。

※上記回答は2021年2月10日時点の情報となります。